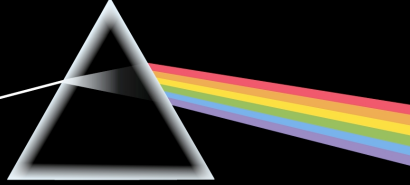


健康講話 役に立つ補聴器のお話



平成23年10月20日

山陰労災病院、耳鼻咽喉科 杉原三郎

難聴（聴こえが悪い）

- 治療で治るもの（病気）
- 治療で治らないもの（病気）
- 加齢に伴うもの

加齢による難聴の特徴

- 小さい音が聴こえない
- しかし、ちょっと**大きな音は**
やかましく感じる
- 音はわかるが、**内容がわからない**
（早口、ぼそぼそしゃべる人）
- 聴力低下⇒必ず耳鳴が起こる

- 家庭での会話の輪に入れない
- テレビの音が大きいと言われる
- 会合での内容がわからない
- いいかげんな返事をしてしまう
- 電話が聞き取れない
- 呼んでも返事がないと怒られる
- 聴きまちがえて大失敗をした
- 聴こえないから無視される

補聴器を思いついたら

なにはともあれ **まず**
耳鼻咽喉科で
耳の診察と聴力検査を

- 重大な病気がみつかるかも
- 処置、手術で軽快するかも
- どういう難聴かがわかる

補聴器はいつつける？

- 欲しい時が、つける時である
- 自分の欲求によって装着を決心
しないと使用できない
- 周囲が困るからという理由で、
つけた（つけさせられた）場合
はうまくいかない

雑音が入る？

- 器械の雑音は、ありません
- 聴こえるのは、あなたが今まで
ずっと聴き逃していた「身の回りの
音」なのです
- 我々の耳（脳）は「身の回りの
音」の中から聴きたい音を選び出
しています

どこで補聴器を買う？

認定補聴器専門店
認定補聴器技能者のいる店

福祉事業として
身体障害者福祉法
厚生年金法
労災保険法

まとめ

- もっと良く聴きたいと思ったときに
補聴器を考える時
- 補聴器は魔法の器械ではない、限界も
ある、練習も必要
- それぞれに特性を合わせ、微調整が
必要なので補聴器専門店で購入
- なによりもまず、耳鼻咽喉科診察を
- 生き甲斐と認知症防止、生活の質向上